

第1学年

令和元年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸指圧科

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	自然科学概論	曜日・時間	火曜日・4時限

【授業概要・目標】

1. 我が国は自然災害大国であるので、地震、台風や豪雨水害の発災時における身の安全を第一に、被災地住民への支援活動の協力が極めて重要である。2. 生命体の「細胞」を構成する様々な器官の生理機能と役割の基礎を理解する。3. 生命体ゲノム（DNA）上の遺伝情報（遺伝子）とタンパク質（機能性因子）との関係を正確に理解する。4. 病原微生物（主に細菌とウイルス）による感染症の発症の仕組みを理解する。5. 生活環境物質（タバコ、食品添加物、農薬や化粧品など）に含む有害成分の発がん作用を正確に理解する。6. 生体防御（免疫）の仕

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	序論-「自然科学概論」とはどんなことを学ぶ教科か？1. 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発と生態系の変化	1	
2	2. 我が国の自然災害（地震、台風や豪雨水害など）の発災時における身の安全確保と被災地住民への支援協力の重要性	2	
3	3. 世界における環境汚染（大気汚染、PM2.5 汚染やプラスチックゴミの海洋汚染）による健康問題と安全な飲料水の確保	3	
4	各論-1 生命の誕生と多様な生物種への進化および生命活動（細胞増殖、代謝と遺伝子発現）の仕組み	4	
5	2. 生命活動に重要な機能性因子（タンパク質）の種類と生理機能	5	
6	3. 自然界とヒト体内に生存する多様な微生物の特徴と生理的役割	6	
7	4. 食中毒を起こす細菌の特徴、食材と感染ルートおよび感染予防	7	
8	5. 性感染症の起因微生物の特徴、感染拡大の仕組みおよび感染予防	8	
9	6. 人が最も発症する風邪とインフルエンザウイルスの特徴と感染予防	9	
10	7. タバコの副流煙に含まれる多様な有害性物質の人体への害作用と発がん作用	10	
11	8. 多種多様な食品添加物、農薬や化粧品の安全性と発がん作用	11	
12	9. 日本人に多いがん発症の特徴と主な要因	12	
13	10. 病原微生物による感染症とがん発症を防御する生体の仕組み（免疫）、11 全授業内容の「まとめ」の資料配布（試験勉強に活用）	13	
14	11 薬剤の様々な薬理作用と副作用および正しい使い方、12 全授業内容の「ま	14	

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

	とめ」の資料配布（試験勉強に活用）		
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検前期試験結果の評価と全授業の総括	15	
評価の方法		筆記試験の成績、積極的な質問および出席日数により総合評価する。	
授業の進め方		配布資料を用いて Power point で行う。毎回、質問の時間を設けます。	
注意（学生に望むこと）		授業中にどんなことでも遠慮なく質問して下さい。本分野において興味ある課題や社会的に話題の解説を早めに要望して下さい。皆さんの要望を授業に生かしたく思っております。	
使用テキスト・参考書		教科書は使用せず、項目ごとに授業資料を配布する。参考書：「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社（2017年3月、第4刷発行）、「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書、「遺伝子が語る生命像」本庶 佑著 Blue Backs、「ウイルス感染症がわかる本」田口文章著 成美堂出版（2005）、「腸内細菌の役割」藤田紘一郎著（腸内細菌に関する著書多数あり）、「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社（2010）	

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 B
科目名	中国語	曜日・時間	月曜日・1時限

【授業概要・目標】

1) 中国語の発音ができるようになる。2) 中国語の文法構造を理解する。3) 医療用語の日中差を理解し、使いこなすことができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	中国語の概説と発音基礎	1	テキスト第8課
2	母音の構造と発音	2	テキスト第8課
3	子音の構造と発音	3	テキスト第9課
4	2文字以上の発音と単語の学び方	4	同上（文法と練習問題）
5	テキスト第4課（単語と本文）	5	テキスト第10課
6	同上（文法と練習問題）	6	同上（文法と練習問題）
7	テキスト第5課	7	文章の読み方の実際
8	同上（文法と練習問題）	8	テキスト第11課
9	テキスト第6課	9	同上（文法と練習問題）
10	同上（文法と練習問題）	10	テキスト第12課
11	テキスト第7課	11	同上（文法と練習問題）
12	同上（文法と練習問題）	12	テキスト第13課
13	前期の文法のまとめ	13	同上（文法と練習問題）
14	発音試験のまとめと試験	14	後期のまとめと発音試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	ペーパー試験が6割、発音試験が4割。
授業の進め方	原則としてテキストにそってすすむが、発音については独自の資料を用いることもある。
注意（学生に望むこと）	予習復習を怠らないこと。
使用テキスト・参考書	『メディカル基礎中国語』劉建著、白帝社。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 A
科目名	中国語	曜日・時間	月曜日・2時限

【授業概要・目標】

1) 中国語の発音ができるようになる。2) 中国語の文法構造を理解する。3) 医療用語の日中差を理解し、使いこなすことができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	中国語の概説と発音基礎	1	テキスト第8課
2	母音の構造と発音	2	テキスト第8課
3	子音の構造と発音	3	テキスト第9課
4	2文字以上の発音と単語の学び方	4	同上（文法と練習問題）
5	テキスト第4課（単語と本文）	5	テキスト第10課
6	同上（文法と練習問題）	6	同上（文法と練習問題）
7	テキスト第5課	7	文章の読み方の実際
8	同上（文法と練習問題）	8	テキスト第11課
9	テキスト第6課	9	同上（文法と練習問題）
10	同上（文法と練習問題）	10	テキスト第12課
11	テキスト第7課	11	同上（文法と練習問題）
12	同上（文法と練習問題）	12	テキスト第13課
13	前期の文法のまとめ	13	同上（文法と練習問題）
14	発音試験のまとめと試験	14	後期のまとめと発音試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	ペーパー試験が6割、発音試験が4割。
授業の進め方	原則としてテキストにそってすすむが、発音については独自の資料を用いることもある。
注意（学生に望むこと）	予習復習を怠らないこと。
使用テキスト・参考書	『メディカル基礎中国語』劉建著、白帝社。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	解剖学 I	曜日・時間	木曜日・3時限

【授業概要・目標】
 正常な人体の形態と構造を理解する。特に、細胞と組織、内臓系について学習する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	人体の構成：解剖学の意義・分類・用語	1	循環器系概説・血管の構造・動脈・静脈
2	細胞の形態と内部構造	2	循環器系概説・血管の構造・動脈・静脈
3	細胞分裂：細胞周期・染色体・減数分裂	3	動脈系・静脈系・門脈系・胎児循環
4	遺伝子：核酸・遺伝情報・情報の伝達	4	リンパ系
5	上皮組織 1：概説	5	呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺
6	上皮組織 2：細胞間結合装置・内・外分泌腺	6	消化器系 1 口唇・口腔・舌
7	結合組織 1：概説	7	消化器系 2 歯・唾液腺
8	結合組織 2：軟骨・骨組織・	8	消化器系 3 咽頭・食道・胃
9	血液とリンパ	9	消化器系 4 小腸・大腸・肛門
10	筋組織総論	10	消化器系 5 肝臓・膵臓・胆嚢
11	神経組織総論	11	泌尿器系 腎臓・尿管・膀胱・尿道
12	皮膚：概説・構造・神経・血管	12	生殖器系 1 男性生殖器
13	毛・爪・皮膚腺・脂腺・乳腺	13	生殖器系 2 女性生殖器
14	人体の区分と方向	14	内分泌系
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験、出席状況、授業態度、小試験、課題提出の総合評価とする。
授業の進め方	教科書中心の講義ではあるが、教科書に記載のない事項まで言及する。
注意（学生に望むこと）	高校程度の生物学の知識は必要である。解剖学は決して暗記科目ではなく、理解することが大事である。予習復習を確実にい行い授業に参加すること。課題の提出期限は厳守すること。
使用テキスト・参考書	解剖学 改訂第2版（医歯薬出版）、その他、随時紹介する。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	解剖学Ⅱ	曜日・時間	水曜日・2時限

【授業概要・目標】

筋系、神経系および感覚器系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	筋系総論	1	神経系総論・脊髄
2	頭部の筋	2	神経系総論・脊髄
3	頸部の筋	3	小脳・間脳・大脳（1）
4	胸部の筋	4	大脳（2）・脳室系等
5	腹部の筋・会陰筋	5	脊髄神経総論
6	背筋	6	頸神経叢・腕神経叢
7	上肢の筋（1）	7	肋間神経・腰神経叢
8	上肢の筋（2）	8	仙骨神経叢（1）
9	上肢の筋（3）	9	仙骨神経叢（2）・脳神経総論
10	下肢の筋（1）	10	脳神経各論（1）
11	下肢の筋（2）	11	脳神経各論（2）
12	下肢の筋（3）	12	脳神経各論（3）・自律神経系
13	下肢の筋（4）	13	伝導路・感覚器系
14	筋系のまとめ	14	神経系と感覚器系のまとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検試験自己評価点検授業	15	

評価の方法	出席と前期試験および後期試験の成績による。
授業の進め方	教科書の内容に沿って進める。
注意（学生に望むこと）	十分に復習すること。
使用テキスト・参考書	解剖学 第2版、社団法人 東洋療法学校協会編、医歯薬出版

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	解剖学Ⅲ	曜日・時間	水曜日・1時限

【授業概要・目標】

解剖学用語を覚えると同時に、人体の各部の位置、役割を理解する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション／総論-1	1	骨・筋復習
2	総論-2・全身の骨格	2	骨・筋復習
3	上肢の骨格・関節-1	3	全身の動静脈-2
4	上肢の骨格・関節-2	4	全身のリンパ・神経-1
5	上肢の骨格・関節-3	5	全身のリンパ・神経-2
6	下肢の骨格・関節-1	6	体幹の局所解剖-1
7	下肢の骨格・関節-2	7	体幹の局所解剖-2
8	下肢の骨格・関節-3	8	上肢の局所解剖-1
9	脊柱の骨-1	9	上肢の局所解剖-2
10	脊柱の骨-2・仙骨	10	下肢の局所解剖-1
11	胸部の骨	11	下肢の局所解剖-2
12	頭蓋骨-1	12	頭頸部の局所解剖-1
13	頭蓋骨-2	13	頭頸部の局所解剖-2
14	骨総復習	14	総復習
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験、小テスト、出席(授業態度含む)などの総合評価
授業の進め方	課題と教科書を中心に授業を行い、小テストで理解を深めるようにすすめる。
注意（学生に望むこと）	教科書・絵図だけではなく、人体で理解できるようにする。
使用テキスト・参考書	「解剖学 第2版」医歯薬出版株式会社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	生理学 I	曜日・時間	金曜日・4時限

【授業概要・目標】
 人体の生理機能について学習し、その意義と調節機構を理解する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	第1章：生理学の基礎	1	第4章：消化と吸収
2	第1章：生理学の基礎	2	第4章：消化と吸収
3	第1章：生理学の基礎	3	第4章：消化と吸収
4	第2章：循環	4	第4章：消化と吸収
5	第2章：循環	5	第4章：消化と吸収
6	第2章：循環	6	第6章：代謝
7	第2章：循環	7	第6章：代謝
8	第2章：循環	8	第6章：代謝
9	第2章：循環	9	第7章：体温
10	第3章：呼吸	10	第7章：体温
11	第3章：呼吸	11	第7章：体温
12	第3章：呼吸	12	第8章：内分泌
13	第5章：体温	13	第8章：内分泌
14	第5章：体温	14	第8章：内分泌
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	定期試験の結果
授業の進め方	教科書を元に、適宜板書・プリント配布を行いながら授業を進める。 また、一部課題を出して理解を深める。
注意（学生に望むこと）	予習・復習を行い、授業外でも理解を深めるよう努力してほしい。
使用テキスト・参考書	教科書

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	生理学Ⅱ	曜日・時間	月曜日・3時限

【授業概要・目標】
生命現象がどのように行われるか内分泌、神経、免疫によって説明することが出来るようになる

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	生理学概論・内分泌Ⅰ	1	内蔵の自律神経性調節Ⅳ
2	内分泌Ⅱ	2	内蔵の自律神経性調節Ⅳ
3	内分泌Ⅲ	3	筋Ⅰ
4	生殖	4	筋Ⅱ
5	成長と老化	5	運動Ⅰ
6	神経Ⅰ	6	運動Ⅱ
7	神経Ⅱ	7	運動Ⅲ
8	神経Ⅲ	8	感覚Ⅰ
9	神経Ⅳ	9	感覚Ⅱ
10	神経Ⅴ	10	感覚Ⅲ
11	内蔵の自律神経性調節Ⅰ	11	生体の防御機構Ⅰ
12	内蔵の自律神経性調節Ⅱ	12	生体の防御機構Ⅱ
13	内蔵の自律神経性調節Ⅲ	13	身体活動の協調
14	前期まとめ	14	後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による。その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
使用テキスト・参考書	生理学第3版 東洋療法学校協会編

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	衛生学・公衆衛生学	曜日・時間	火曜日・3時限

【授業概要・目標】
 衛生学・公衆衛生学の知識を習得することにより、施術および患者への生活指導に活用できるようになる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	§1 衛生学・公衆衛生学の意義	1	§5 産業保健
2	§2 健康(1)健康の概要	2	§5 産業保健
3	§2 健康(2)健康管理と健康増進	3	§6 精神保健(2)主な精神科疾患と医療・保護
4	§2 健康(3)健康管理と衛生行政	4	§7 母子保健
5	§3 ライフスタイルと健康(1)食品と健康(栄養、保健機能食品を含む)、運動と健康	5	§8 成人・高齢者保健(1)意義、加齢と老化、生活習慣病
6	§3 ライフスタイルと健康(2)食品と疾病：食品と疾患(栄養素、経口感染症、生活習慣病、食品添加物など)、	6	§8 成人・高齢者保健(2)高齢者の保健福祉、介護保険、難病
7	§3 ライフスタイルと健康(3)食品と疾病(食中毒、近年の食品に関わる問題)	7	§9 感染症とその対策(1)意義と種類
8	§4 環境と健康(1)環境とは	8	§9 感染症とその対策(2)発生要因と予防、免疫
9	§4 環境と健康(2)日常生活環境(物理的環境要因)	9	§10 消毒法(1)消毒法一般と種類
10	§4 環境と健康(3)日常生活環境(化学的環境要因①)	10	§10 消毒法(2)消毒法の実際、医療廃棄物の処理
11	§4 環境と健康(4)日常生活環境(化学的環境要因②、生物学的環境要因)	11	§11 疫学
12	§4 環境と健康(5)公害	12	§12 保健統計(1)保健統計の意義
13	§4 環境と健康(6)地球規模の環境問題	13	§12 保健統計(2)主な保健統計指標
14	予備日(復習)	14	予備日(復習)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	プレゼンテーションと板書を活用し講義形式で行う。
注意(学生に望むこと)	予習として、各回のテーマの教科書の範囲を一読しておいて欲しい。
使用テキスト・参考書	『衛生学・公衆衛生学』

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	医療概論	曜日・時間	火曜日・2時限

【授業概要・目標】

授業概要:鍼灸、マッサージを学ぶうえで医療・医学の歴史を知り、さらに考えを深めていく。
また、医療従事者に求められる倫理を考える。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	
2	医学史の意義	2	
3	古代の医学	3	
4	中世・ルネサンスの医学	4	
5	17・18世紀の医学	5	
6	19・20世紀の医学	6	
7	古代インドの医学	7	
8	中国の医学	8	
9	日本の医学 1	9	
10	日本の医学 2	10	
11	日本の医学 3	11	
12	現代医学の課題	12	
13	現代の医療制度	13	
14	医療倫理	14	
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験
授業の進め方	教科書を使用し授業を進める。
注意（学生に望むこと）	医療人としての自覚を持ち、真摯な態度での受講を望む。
使用テキスト・参考書	医療概論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	東洋医学概論 I	曜日・時間	火曜日・1時限

【授業概要・目標】

前期の授業では、東洋医学の特徴、陰陽学説、五行学説、生体物質について学ぶ。後期の授業では、各臓象の生理・病理を中心に学ぶ。1年間を通じて、治療の基礎となる東洋医学の考え方を身につける。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション、はじめに(p1-2)	1	神の概念・生理・病理(p62-68)
2	人体の見方、東洋医学的治療(p13-28)	2	神の概念・生理・病理(p62-68)
3	日本の東洋医学の現状(p29-36)	3	蔵象学説、肝の生理と病理(p74-81)
4	陰陽学説(p181-187)	4	胆の生理と病理(p84) 肝と関係のある奇恒の腑(p85-87)
5	五行学説(p188-200)	5	心の生理と病理(p87-90)
6	五行学説(p188-200)	6	小腸の生理と病理(p94) 心と関係のある奇恒の腑(p95-97)
7	陰陽学説・五行学説試験	7	脾の生理と病理(p97-100)
8	生体物質<精の生理・病理>(p37-42)	8	胃の生理と病理(p103)
9	生体物質<気の生理>(p42-46)	9	肺の生理と病理(p106-110)
10	生体物質<気の病理>(p46-50)	10	大腸の生理と病理(p113)
11	生体物質<血の生理・病理>(p50-53)	11	腎の生理と病理(p115-120)
12	生体物質<津液の生理・病理>(p54-58)	12	膀胱の生理と病理(p123) 腎と関係のある奇恒の腑(p124-125)
13	生体物質の相互関係(p58-62)	13	三焦(p125-127)
14	前期まとめ	14	前期・後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	試験の結果を元に行う。
授業の進め方	教科書を元に授業を進め、適宜板書、プリント配布を行う。また、一部課題を出して理解を深める。
注意（学生に望むこと）	聞き慣れない言葉や概念が多く出てくるので、教科書を何度も読み込むことをしてほしい。
使用テキスト・参考書	『新版 東洋医学概論』 医道の日本社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	東洋医学概論Ⅱ	曜日・時間	金曜日・2時限

【授業概要・目標】
東洋医学とはどういうもので、どのような歴史を持っているかを知ってもらい、東洋医学について興味関心を持ってもらう。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学とは	1	後期ガイダンス,日本医学史④
2	東洋の医学①	2	後期ガイダンス,日本医学史④
3	東洋の医学②	3	日本医学史⑥
4	東洋の医学③	4	日本医学史⑦
5	東洋の医学④	5	日本医学史⑧
6	中間テスト(予定)	6	中間テスト(予定)
7	中国医学史①	7	テスト解説,古典医学文献序
8	中国医学史②	8	古典医学文献①
9	中国医学史③	9	古典医学文献②
10	中国医学史④	10	古典医学文献③
11	中国医学史⑤、日本医学史序	11	古典医学文献④
12	日本医学史②	12	古典医学文献⑤
13	日本医学史③	13	古典医学文献⑥
14	前期の復習	14	古典医学文献の復習
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	中間+期末/2したものを点数とするが、授業態度、出席点も考慮する。
授業の進め方	基本はプリントを配布。パワーポイント及び板書にて進める。
注意(学生に望むこと)	体調管理は常に行い、休んだ場合はきちんとクラスメイトに確認を取ること。
使用テキスト・参考書	参考図書: 適宜授業内で紹介する。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 AB
科目名	経絡経穴概論 I	曜日・時間	木曜日・1時限

【授業概要・目標】

経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、その他要穴、骨度等を総合的に学習する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション・経絡経穴の基礎 (1)	1	前期授業内容確認試験
2	経絡経穴の基礎 (2)	2	前期授業内容確認試験
3	経穴の取り方に必要な用語	3	流注と経穴名および取穴部位 (胆経)
4	流注と経穴名および取穴部位 (督脈)	4	流注と経穴名および取穴部位 (肝経)
5	流注と経穴名および取穴部位 (任脈)	5	奇穴の経穴名および取穴部位
6	流注と経穴名および取穴部位 (肺経と大腸経)	6	経絡・経穴の現代的研究
7	流注と経穴名および取穴部位 (胃経)	7	五要穴の概要と説明
8	流注と経穴名および取穴部位 (脾経と心経)	8	五行穴の概要と説明
9	流注と経穴名および取穴部位 (小腸経)	9	肩部、頸部、上腕の経穴名と取穴部位 (筋枝)
10	流注と経穴名および取穴部位 (膀胱経 ①)	10	前腕部、手部の経穴名と取穴部位 (筋枝)
11	流注と経穴名および取穴部位 (膀胱経 ②)	11	下腿部の経穴名と取穴部位 (筋枝)
12	流注と経穴名および取穴部位 (腎経)	12	大腿部、足部の経穴名と取穴部位 (筋枝)
13	流注と経穴名および取穴部位 (心包経)	13	腹部の経穴名と取穴部位 (筋枝)
14	前期授業内容の復習	14	後期授業内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	小テスト評価 (40%)、課題評価 (20%)、定期試験 (40%) で評価。
授業の進め方	教科書「経絡・経穴概論」を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
注意 (学生に望むこと)	授業のみでは習得できる内容ではないので復習を十分に行ってください。
使用テキスト・参考書	教科書：『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社) 参考書：『経穴インパクト』(医道の日本社)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年A
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技I	曜日・時間	木曜日・4時限

【授業概要・目標】
臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	あん摩の意義 実技 手拳叩打法	1	前期の総復習（打法、曲手）
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打、合掌、	2	前期の総復習（打法、曲手）
3	実技 叩打、合掌、切打 曲手法	3	五作用について 下肢の施術実技
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技	4	あん摩の治療効果 下肢の施術実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技	5	五作用について 下肢の施術実技
6	手技の留意点 肩背の施術	6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	軽擦法の生理作用 軽擦法の実技	7	禁忌症について 頸部の実技
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 軽擦法の実技	8	頸部の実技
9	その他の生理作用 腰部の実技	9	頸部の実技 施術上の注意
10	肩背部、腰部の実技	10	頭部の実技
11	肩背部、腰部の実技	11	頸部、頸部の実技
12	上肢の施術実技	12	前期、後期の実技の復習
13	上肢の施術実技	13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	授業の実技の取り組む姿勢・課題目標明確にする
授業の進め方	授業は理論と実技を組み合わせる
注意（学生に望むこと）	課外練習を望みます
使用テキスト・参考書	『あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>』『あん摩マッサージ指圧理論』、プリント中心に進める。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年 B
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技 I	曜日・時間	木曜日・4時限

【授業概要・目標】
臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	あん摩の意義 実技 手拳叩打法	1	前期の総復習（打法、曲手）
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打、合掌、	2	前期の総復習（打法、曲手）
3	実技 叩打、合掌、切打 曲手法	3	五作用について 下肢の施術実技
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技	4	あん摩の治療効果 下肢の施術実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技	5	五作用について 下肢の施術実技
6	手技の留意点 肩背の施術	6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	軽擦法の生理作用 軽擦法の実技	7	禁忌症について 頸部の実技
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 軽擦法の実技	8	頸部の実技
9	その他の生理作用 腰部の実技	9	頸部の実技 施術上の注意
10	肩背部、腰部の実技	10	頭部の実技
11	肩背部、腰部の実技	11	頸部、頸部の実技
12	上肢の施術実技	12	前期、後期の実技の復習
13	上肢の施術実技	13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	授業の実技の取り組む姿勢・課題目標明確にする
授業の進め方	授業は理論と実技を組み合わせる
注意（学生に望むこと）	課外練習を望みます
使用テキスト・参考書	『あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>』『あん摩マッサージ指圧理論』、プリント中心に進める。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年A
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技Ⅱ	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】
 マッサージの基本的な手技、手技に伴う理論を知る。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	マッサージの意義、基本手技・基本手技、打法	1	手部、前腕部、上腕部
2	マッサージの歴史、あまの相違点・基本手技、打法	2	手部、前腕部、上腕部
3	軽擦法、生理的作用、留意点・基本手技、打法	3	僧帽筋群
4	強擦法、生理的作用、留意点・基本手技、打法	4	棘下筋群、脊柱起立筋群
5	揉捏法、生理的作用、留意点・手部	5	背腰部全体
6	叩打法、生理的作用、留意点・前腕部	6	頸部、頭部
7	振せん法、生理的作用、留意点・上腕部	7	頸部、頭部、胸部
8	圧迫法、生理的作用、留意点・上肢全体	8	胸部、腹部
9	運動法、生理的作用、留意点・足部、下腿部	9	背部、腹部
10	大腿部	10	前腕部、上腕部
11	臀部、下肢	11	足部、下腿部、大腿部、殿部
12	下肢全体	12	背部、腹部
13	全体復習	13	全体復習
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価、点検	15	

評価の方法	実技試験（70%）、筆記試験（30%）、合計で65点以上合格
授業の進め方	実技を主にし、実技に対する座学を含める
注意（学生に望むこと）	マッサージの基本手技を理解し、覚えるようにし、手技に伴う理論を知るようにする。
使用テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技（基礎編）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年 B
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技Ⅱ	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】

マッサージの基本手技、各部位施術の基本を習得する。また、手技に伴う理論を理解する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション マッサージの基本手技・打法	1	上肢・頸部・頭部の触診／脈 上肢全体
2	マッサージの意義と沿革・あま指の相違点 基本手技・打法	2	上肢・頸部・頭部の触診／脈 上肢全体
3	軽擦法：生理的作用・留意点 基本手技・打法・背部触診	3	胸椎・腰椎触診 背腰部①僧帽筋群、広背筋群
4	揉捏法：生理作用・留意点 基本手技・打法・背部触診	4	胸椎・腰椎触診 背腰部②棘下筋群、脊柱起立筋群
5	圧迫法：生理作用・留意点 基本手技・前腕部・背部触診	5	胸椎・腰椎触診 背腰部全体
6	強擦法：生理作用・留意点 基本手技・手部・背部触診	6	頸部・頭部
7	振せん法：生理作用・留意点 基本手技・上腕部・上肢触診	7	頸部・頭部・胸部
8	叩打法：生理作用・留意点 上肢全体	8	腹部のしくみ 胸部・腹部
9	運動法：生理作用、留意点 足部	9	背部・腹部
10	骨盤～下肢触診 下腿部・大腿部	10	問診～主訴部位中心に全身
11	下肢触診 臀部、下肢	11	問診～主訴部位中心に全身
12	下肢全体	12	問診～主訴部位中心に全身
13	全体復習／筆記試験	13	全身／筆記試験
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技試験・授業への取り組み（70%）、筆記試験（30%）
授業の進め方	マッサージの実技を主にしながら、これに伴う理論を理解できるようにする。
注意（学生に望むこと）	授業で積極的に取り組むのはもちろんのこと、授業外でも練習をすること。
使用テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>・あん摩マッサージ指圧理論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年A
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日・2時限

【授業概要・目標】
指圧の基礎、基本実技、および各部位、全身の指圧法を知る。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	押圧操作の基本	1	胸部
2	押圧操作の三原則	2	胸部
3	押圧操作に用いる部位・基本圧法、運動操作・注意点	3	上肢部
4	肩背部（座位・伏臥位）	4	上肢部
5	肩背部（側臥位）	5	前身施術（側臥位）
6	下肢部（伏臥位）	6	前身施術（側臥位）
7	下肢部（仰臥位）	7	前身施術（仰臥位）
8	下肢部（全体）	8	前身施術（仰臥位）
9	頭部	9	前身施術（伏臥位）
10	頸部	10	前身施術（伏臥位）
11	顔面部	11	座位施術
12	前期の復習	12	後期の復習
13	前期の復習	13	後期の復習
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技試験（70%）、筆記試験（30%）合計で65点以上合格
授業の進め方	実技を主にし、実技に対する座学を含める
注意（学生に望むこと）	指圧の基本手技を理解し、覚えるようにし、手技に伴う理論を知るようにする
使用テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科1年B
科目名	按摩マッサージ指圧基礎 実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日・2時限

【授業概要・目標】

指圧施術の基礎を知り、基本技術を習得する。全身の押圧手順を実践する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	押圧操作の基本	1	胸部
2	押圧操作の三原則	2	胸部
3	押圧操作に用いる部位・基本圧法、運動操作・注意点	3	上肢部
4	肩背部（座位・伏臥位）	4	上肢部
5	肩背部（側臥位）	5	前身施術（側臥位）
6	下肢部（伏臥位）	6	前身施術（側臥位）
7	下肢部（仰臥位）	7	前身施術（仰臥位）
8	下肢部（全体）	8	前身施術（仰臥位）
9	頭部	9	前身施術（伏臥位）
10	頸部	10	前身施術（伏臥位）
11	顔面部	11	座位施術
12	前期の復習	12	後期の復習
13	前期の復習	13	後期の復習
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	施術姿勢、習熟度、出席率
授業の進め方	お互いに組み施術。個々人への指導
注意（学生に望むこと）	授業の復習、習得のための練習
使用テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉 教科書

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 A
科目名	鍼灸基礎実技	曜日・時間	月曜日・1時限

【授業概要・目標】

(1) 施術上の基礎知識を理解する。(2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	前期実技試験の復習
2	講義：施術上の注意 実技：鍼の基本実技 (1)	2	前期実技試験の復習
3	講義：消毒法について 実技：灸の基本実技 (1)	3	灸の基本実技 (7)
4	講義：はりの基礎知識 実技：鍼の基本実技 (2)	4	鍼の基本実技 (8)
5	講義：きゅうの基礎知識 実技：灸の基本実技 (2)	5	灸の基本実技 (8)
6	鍼の基本実技 (3)	6	鍼の基本実技 (9)
7	灸の基本実技 (3)	7	灸の基本実技 (9)
8	鍼の基本実技 (4)	8	鍼の基本実技 (10)
9	灸の基本実技 (4)	9	灸の基本実技 (10)
10	前期中間実技試験	10	後期中間試験
11	鍼の基本実技 (5)	11	鍼の基本実技 (11)
12	灸の基本実技 (5)	12	灸の基本実技 (11)
13	鍼の基本実技 (6)	13	鍼の基本実技 (12)
14	灸の基本実技 (6)	14	灸の基本実技 (12)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技試験 (70%) + 小テスト (10%) + 実技課題 (10%) + 中間実技試験 (10%) で評価
授業の進め方	(1) 講義 30分 (小テスト含む) と実技 60分のペースで授業をしていく予定です。(2) 毎回、実技課題と小テストを行います。
注意 (学生に望むこと)	(1) 実技練習は授業時間だけでなく、毎日家などで必ず練習してください。(2) 授業中は態度・言葉遣い・白衣着用・身なりに気を付け、教室の整理整頓を行ってください。
使用テキスト・参考書	テキスト：『はりきゅう理論』『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編) 参考書：『マンガ鍼灸臨床インシデント』(医道の日本社)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸指圧科 1年 B
科目名	鍼灸基礎実技	曜日・時間	月曜日・2時限

【授業概要・目標】

(1) 施術上の基礎知識を理解する。(2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	前期の復習
2	講義：施術上の注意 (1) 実技：鍼の基本実技 (1)	2	前期の復習
3	講義：施術上の注意 (2) 実技：灸の基本実技 (1)	3	灸の基本実技 (6)
4	講義：施術上の注意 (3) 実技：鍼の基本実技 (2)	4	鍼の基本実技 (7)
5	講義：施術上の注意 (4) 実技：灸の基本実技 (2)	5	灸の基本実技 (7)
6	鍼の基本実技 (3)	6	鍼の基本実技 (8)
7	灸の基本実技 (3)	7	灸の基本実技 (8)
8	鍼の基本実技 (4)	8	鍼の基本実技 (9)
9	灸の基本実技 (4)	9	灸の基本実技 (9)
10	前期中間実技試験	10	後期中間試験
11	鍼の基本実技 (5)	11	鍼の基本実技 (10)
12	灸の基本実技 (5)	12	灸の基本実技 (10)
13	鍼の前期試験	13	鍼の後期試験
14	灸の前期試験	14	灸の後期試験
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技試験 (70%) + 小テスト (10%) + 実技課題 (10%) + 中間実技試験 (10%) で評価
授業の進め方	(1) 講義 30分 (小テスト含む) と実技 60分のペースで授業をしていく予定です。(2) 毎回、実技課題と小テストを行います。
注意 (学生に望むこと)	(1) 実技練習は授業時間だけでなく、毎日家などで必ず練習してください。(2) 授業中は態度・言葉遣い・白衣着用・身なりに気を付け、教室の整理整頓を行ってください。
使用テキスト・参考書	テキスト：『はりきゅう理論』『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編) 参考書：『マンガ鍼灸臨床インシデント』(医道の日本社)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸指圧科 1年
科目名	臨床実習	曜日・時間	火水金・3・4時限

【授業概要・目標】

①患者への接遇ができる。②基本的な施術準備ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業 (I)	1	臨床実習 (15)
2	臨床実習前授業 (II)	2	臨床実習 (16)
3	臨床実習 (1)	3	臨床実習 (17)
4	臨床実習 (2)	4	臨床実習 (18)
5	臨床実習 (3)	5	臨床実習 (19)
6	臨床実習 (4)	6	臨床実習 (20)
7	臨床実習 (5)	7	臨床実習 (21)
8	臨床実習 (6)	8	臨床実習 (22)・振り返り
9	臨床実習 (7)	9	
10	臨床実習 (8)	10	
11	臨床実習 (9)	11	
12	臨床実習 (10)	12	
13	臨床実習 (11)	13	
14	臨床実習 (12)	14	
◆	臨床実習 (13)	◆	
15	臨床実習 (14)	15	

評価の方法	身だしなみ・参加意欲・実習生同士の協調性・患者接遇などを総合的に評価する。
授業の進め方	指導教員の施術見学、施術所の環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意(学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし